

# 山野井たかし市議会報告

18

後援会連絡所 〒323-0807 栃木県小山市城東 3-14-5 0285-20-5000

URL: <http://www.city-oyama.com/yamanoi.htm>

皆様からの日頃のご支援に感謝申し上げます。  
働く仲間の代表として住みやすい小山市づくりをめざし、  
頑張っておりますので、よろしくお願い致します。

平成 19 年第 1 回小山市議会定例会が 2 月 22 日から 3 月 19 日の日程で開催されました。

本議会に上程された議案は、平成 19 年度小山市一般会計  
予算等、予算に関するもの 14 件、補正予算に関するもの  
9 件、条例の制定および改正に関するもの 15 件、指定管理  
者の指定について 3 件等、議案 52 件、報告 2 件であり、  
全議案が原案通り可決されました。



市政一般質問する山野井たかし

## ・・・ 2 月議会の主な議案・・・

### 平成 19 年度小山市一般会計予算(518 億 5 千万円、前年度比 + 0.04%)

歳入においては、景気回復や地方税法改正により市税が前年度比 12.4% という大幅な伸びとなることを背景に平成 19 年度一般会計予算は前年度比 0.04% 増の 518 億 5 千万円となった。

歳出面では、人件費などの義務的経費を削減し、社会保障費である扶助費を増額、くらしやすさ市民生活の向上のための投資的経費の確保を図るとして 15.7% 確保したとのことであります。

#### < 主な事業費 >

- ・コミュニティ、循環バス整備事業費・・・ 84,552 千円
- ・市全域ケーブルテレビ普及支援事業費・・・ 705,104 千円
- ・間々田市民交流センター整備事業費・・・ 385,623 千円
- ・児童手当関係費・・・ 1,183,843 千円
- ・児童扶養手当関係費・・・ 488,096 千円
- ・小山広域保健衛生組合負担金・・・ 2,117,868 千円
- ・民間保育所入所委託料・・・ 992,466 千円
- ・小山駅中央自由通路整備事業・・・ 200,000 千円

### 小山市副市長の定数を定める条例の制定について

地方自治法の改正により、市は『助役』に代えて『副市長』を置くことになり、小山市では『副市長』の定数を 1 名と定め、併せて『収入役』を廃止することとしました。

議会最終日には追加議案として『副市長』に小久保吉男市民生活部長を任命し『助役』『収入役』が共に 3 月 31 日をもって辞任することを表明しました。

## ・・・ トピックス・・・

### 小山市議会議員の政治倫理に関する条例(議員提出議案)を制定

小山市議会議員が市民の厳粛な信託を受けた地位にあることを認識し、市民全体の奉仕者として、その人格と倫理の向上に努め、常に良心に従って誠実かつ公正にその職務を行い、もって清潔で民主的な市政の発展に寄与することを目的として、小山市議会議員の政治倫理に関する条例を議員提出議案として制定しました。

## ・・・ 山野井たかしの主な活動報告(12月23日~3月19日)・・・

- |                         |                                  |
|-------------------------|----------------------------------|
| 12月                     | 21日: 小山ネットワーク協議会総会               |
| 28日: 富士通化成市政相談          | 22日: 2月議会(開会・市政一般報告他)<br>議員全員協議会 |
| 1月                      | 5日: 小山市賀詞交歓会                     |
| 7日: 小山市成人式(小山二中)        | 26日: 2月議会(一般質問)~3月1日             |
| 10日: 富士通テン市政報告会         | 27日: 議会広報委員会                     |
| 18日: 教育文化保健体育功労者表彰式     | 3月                               |
| 24日: 富士通化成市政相談          | 5日: 民生消防常任委員会                    |
| 31日: 議会広報委員会<br>議員全員協議会 | 8日: 外城地域環境整備協議会                  |
| 2月                      | 9日: 小山第二中学校卒業式                   |
| 13日: 城南地区中心施設構想策定委員会    | 14日: 中央福祉医療専門学校卒業式<br>富士通テン市政相談  |
| 14日: 富士通テン市政報告会         | 15日: いきいきふれあい『あけぼの』総会            |
| 19日: 総合型地域スポーツクラブ準備会    | 16日: 小山市営住宅入居者抽選会                |
|                         | 19日: 2月議会(採決・閉会)                 |

・・・山の井たかし市政一般質問要旨・・・

『放課後子ども教室推進事業』について

Q：本年から、地域子ども教室推進事業が廃止され、放課後子ども教室推進事業が実施されるが、小山市の考える放課後子ども教室推進事業について聞きたい。

A：放課後子どもプランと整合性をもった位置づけの中で実施したい。

『放課後子どもプラン事業』について

Q：放課後子どもプランについて、小山市としての考え方、プランの方向性を聞きたい。

A：現行の学童保育クラブ事業を基本とした考え方に立ち、学校施設の積極的な開放、活用方針を示し、学童保育環境の一層の改善を図る。

『小山市安全安心情報配信事業』について

Q：小山市安全安心情報配信事業は気象情報、災害情報、不審者情報等を配信するというが、その内容について詳しく聞きたい。

A：携帯電話等の電子メール機能を活用し、防災に関する避難勧告、地震の震度や気象に関する警報、火災情報、不審者や悪質商法、交通安全情報などを提供していく。

『小・中学校緊急通報システム整備事業』について

Q：本年度導入する小・中学校緊急通報システムの内容について詳しく聞きたい。

A：教室で緊急時に先生が非常ボタンを押すことで、送信機から職員室に通報され、受信機に該当箇所が表示されて職員室で緊急事態を把握し、通報装置により110番通報される。また、該当箇所のサイレンまたはベルが鳴ることで付近の児童生徒が即座に避難できる。

『大学生によるスクールサポート事業』について

Q：新規事業である大学生によるスクールサポート事業の詳細について聞きたい。

A：小学校では通常授業の補助的な支援と夏休みや土曜日の学習会への支援を、中学校では放課後の学習会と部活動への支援を予定している。派遣にあたっては学校側の要望と学生の条件が一致することが前提となるが多くの学校に派遣できるよう働きかけていく。

『コミュニティ・循環バス』について

Q：コミュニティ・循環バスについて利用状況、採算について聞きたい。また、全ての路線を整備した場合の市の持ち出しは毎年いくらくらいになるか。

A：利用者数は月平均で小山駅東循環バスは約6400人、小山駅西循環バスは約4850人、城東・中久喜循環バスは、約2250人、生井、寒川、中、間々田、南間々田の5路線で約3000人で全路線とも増加傾向にある。

計画路線が全て運行する平成20年度の全ての補助額は、循環バス4路線で3200万円、地域コミュニティバス8路線で5700万円、合計8900万円となる。

『私立高等学校誘致』について

Q：私立高等学校の誘致の進捗、取り組みについて聞きたい。

A：本市の誘致計画に十分な理解が得られず、栃木県私立中学高等学校連合会から計画撤回の要望書をいただいた。今後はこうした状況を踏まえ、市議会をはじめ市内各階層から委員をむかえて懇話会を立ち上げ、様々な立場から幅広い意見を聞きながら検討したい。平成19年度は業務委託料と懇話会委員の報酬を合わせて100万円を計上している。

『水戸線雨ヶ谷踏切内歩道の安全対策』について

Q：水戸線雨ヶ谷踏切内歩道の安全対策について聞きたい。

A：車道と歩道を分ける縁石については、以前は20cmであったが、定床車両の導入により15cmになった。今後、警察との立会いにより、横断歩道の設置や停止線の設置、歩道部を緑色に着色すること、ゼブラマークや外側線の設置、オレンジの誘導ポールも設置し、十分な安全対策が図れるものと考えている。

『学校給食費未納問題』について

Q：学校給食費未納問題の具体的な取組みと未納分の補填方法について聞きたい。

A：欠損分の対処方法については、他の予算から一時的な立替や徴収された給食費内で安価な食材を使用するなど補填している。教育委員会としては、悪質な滞納者に対して支払い督促の申立ての法的措置を講ずる計画をしている。

『ゆとり教育の見直し』について

Q：政府の教育再生会議の第一次報告案が出され、ゆとり教育の見直しなどが提案された。学習指導要領が改訂、授業時数の10%増が決定された場合、市の対応について聞きたい。

A：現行の学校週5日制の中で授業時数を10%増やした場合、児童・生徒の負担過重になり学習意欲が低下し学力向上に結びつかなかったり、学校嫌いの子どもの増やしたり、別の問題を生むことも予想される。

学校週5日制を見直し、月2回の土曜日を登校日にして授業時数を確保するなどが考えられるが、これについては国が法改正した上でのこととなる。

本市において、どのような方策をとることが児童・生徒・保護者・地域の方々にとって望ましいかを十分に検討していく。

**次回の議会は6月11日から28日の日程で開催される予定です。**

**ぜひ一度、議会の傍聴をお願いいたします！**

**行政チャネル(5ch)でも生放送・再放送(土・日曜)します。**